

広島市都市整備局都市計画課都市デザイン係

ひろしま街づくりデザイン賞 検索

▶事業者 ▶都市計画・都市デザイン▶ひろしま街づくりデザイン賞

<http://www.city.hiroshima.jp>

URL:広島市ホームページ

HIROSHIMA
URBAN
DESIGN
AWARD

J 4 t h U R B A N D E S I G N A W A R D H I R O S H I M A

14 t h U R B A N D E S I G N A W A R D H I R O S H I M A

URBAN
DESIGN
AWARD
HIROSHIMA

第14回 ひろしま街づくりデザイン賞

広島市都市整備局都市計画課都市デザイン係

日本キリスト教団広島牛田教会・あやめ幼稚園



●所在地/東区牛田中2-7-34 ●施主/日本キリスト教団広島牛田教会 ●設計者/仲子盛進総合環境デザイン ●施工者/株式会社増岡組 ●概要/教会・幼稚園 鉄筋コンクリート造2階建建築面積:342.12㎡ 延床面積:506.92㎡ ●完成時期/平成24年4月

●選考理由/樹齢約160年の被爆クスノキを中心として、教会、幼稚園、保育室、図書室が配置されている。園児や訪問者など誰でも高い目線から被爆クスノキに触れることのできる計画となっており、広島歴史・文化継承の一助となることが期待される。また、内外ともに、コンクリートの打ち放しと木の素材色を主体とした仕上げ構成とすることにより、周辺の住宅地に溶け込むような落ち着いた外観となっている。

URBAN DESIGN AWARD HIROSHIMA



部門賞 建築物部門 楽山文庫



部門賞 個人住宅部門 OZ-HOUSE



部門賞 花と緑部門 こころ西風梅苑



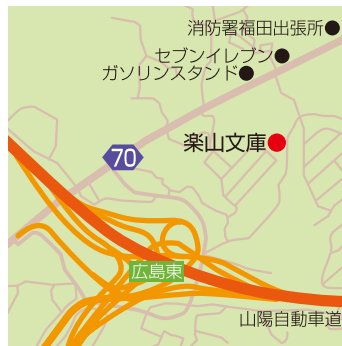
部門賞 街並み部門 Tamaya BLD



部門賞 活動部門 ふたたびプロジェクト

部門賞

建築物部門 楽山文庫



●所在地/東区福田4-2985-11 ●施主/松本洋二 ●設計者/西野辰哉+にしのなみ建築設計室
構造設計協力:長坂設計工舎 ●施工者/株式会社沖田 ●概要/私設図書館 木造 建築面積:
53.00㎡ 延床面積:46.37㎡ ●完成時期/平成21年10月

●選考理由/地域に開かれた近隣住民の憩いの場となっている個人が運営する文化活動施設である。建物の前の砂利敷きの庭は丁寧に手入れされており、また、整形な平面計画に単純な寄せ棟の屋根を載せた平屋のシンプルなデザインが周囲の住宅地に安らぎを与えている。住宅地の中にひっそりと建っており、一見するとその外観からはどのような用途の建物であるか判らないユニークさも良い。

部門賞

個人住宅部門 OZ-HOUSE



●所在地/中区広瀬北町4-14 ●施主/小嵯美重子 小嵯久博 小嵯桂子 ●設計者/向山徹建築設計室 ●施工者/橋本建設株式会社 ●概要/専用住宅 木造存来工法一部鉄筋コンクリート造 建築面積:133.85㎡ 延床面積:185.96㎡ ●外構/NeatGarden ●完成時期/平成24年1月

●選考理由/周辺を高いビルに囲まれる無機質な街並みの中で、狭い空間を隠れ家的な楽しい空間として作り出している。木材をふんだんに使用して、森の中のコテージ、ログハウスも想起させつつ、家の中に上手に緑を取り入れている。また、片流れ屋根として妻側の受風面積を低減するなど、ビル風(高層ビルの谷間に発生する強い風等)の問題を解決できるように工夫されたデザインになっている。

部門賞

花と緑部門 こころ西風梅苑



●所在地/安佐南区伴南五丁目5 ●施主/西広島開発株式会社 ●設計者/株式会社植藤造園 ●施工者/株式会社田田造園 ●概要/西風新都セントラルシティ「こころ(総戸数3,214戸)」の中心地区における地域住民の憩いと潤いの空間、および日本文化の発信の場としての活用 梅=170本(20本が樹齢約200年)・竹=130本(植栽時)その他=紫式部、牡丹、しゃが、山紫陽花、藪蘭、ヤブツバキ、杉苔、ヤブコウジ等 庭園面積 約1,000坪(内石畳:約100坪) ●完成時期/平成25年3月

●選考理由/地域住民の憩いと潤いの空間を創造したいという作庭者の想いが表れている空間である。住宅やショッピングセンターが建ち並び、味気ない場所に梅苑が作庭されたことにより、街並みが進化し、街づくりに発展する可能性を期待させる。

街づくり提案賞

エコバッグでアピールプロジェクト



●提案者/土井紀子(基町高校) ●提案内容/市街地の宣伝看板を減らすためのエコバッグプロジェクト ●提案意図/広島市と広島企業が提携してエコバッグをデザインし、つくるという提案である。広島市の中心部では、企業宣伝の看板により煩雑を極めており、広島市街地の景観が損なわれているように感じる。そこで、看板を減らし、自然(空・緑)が見える面積を増やすことにより開放感のある空間ができると考える。屋外看板の代わりに、エコバッグには広島を象徴するマークを中心に企業のマークや宣伝を配置する。なお、そのエコバッグを持つことで広島市民が県外へ旅行するとき、広島市の宣伝になることと同時に、レジ袋の削減にもつながると考える。

●選考理由/広島企業のロゴを配置しており、発想が楽しい。提案としてのインパクトも大きく、市民へのアピール力も大きい。街中で、エコバッグを持つことで、ある種、自分がその街の風景となる。市民と共同して街づくり活動ができる点が評価できる。

街づくり提案賞

川ざらい復活計画

●提案者/石橋かれん(基町高校) ●提案内容/江戸時代の砂持加勢まつりで行われた「川ざらい」を復活させる ●提案意図/江戸時代に1度だけ行われた幻の祭り「砂持加勢まつり」が6年前から再開されているが、その祭りが始まる要因となった「川ざらい」は行われていない。本来の祭りの意図を知ることや、「泥をさわる、遊ぶ」という行為によって脳の発達、活性化や免疫力の向上が見込まれる。以上のことから「川ざらい復活計画」を提案する。

●選考理由/本来の祭りの意図を知ってもらうとともに、汚れた川の風景がより良くなる活動である点を評価した。



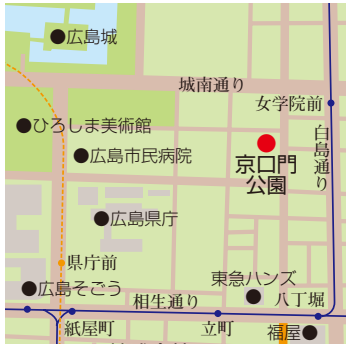
街づくり提案賞

京口門バウムクーヘンパーク



都市が顔を向ける公共空間の組み立てかた

京口門公園は広島市の代表的な官庁街である上八丁場のほぼ中央に位置しています。しかし、その狭さと周囲を高いビルで囲まれた立地により、現在は薄暗く人の集まりにくい場所となっています。京口門公園の持つ可能性を最大限に解放するためには、公園のリニューアルだけでは不十分で、取り囲む民間敷地との関係性を見直すことが大切だと考えました。



●提案者/ Hiroshima Future Center 古田詩乃 山中佑太 ●提案内容/京口門児童公園のリニューアル及び公園マネジメントの提案 ●提案意図/京口門児童公園を中心に、民間敷地と公共空間の新しい関係性を形成することで、企業・市民・自治体・教育機関のハブとなり、文化的交流を生む場所となることを願い提案する。場所から安らぎを感じ、学びを得ることができ、自らの可能性を発見できる、そんな場所が

広島中にひろがれば、広島はもっと面白くなる。

●選考理由/公園に民間敷地と公共空間をつなぐ機能を新たに持たせるという優れた提案である。京口門公園に限らず、都市の中の様々な公園に活用できる。

奨励賞

就労サポートセンターSOAR



●所在地/東区若草町15-20 ●施主/社会福祉法人交響・社会福祉法人つつじ ●設計者/株式会社吉田 ●施工者/正田建設株式会社 ●概要/社会福祉施設 鉄筋コンクリート造 5階塔屋1階建 建築面積:211.29㎡ 延床面積:1,006.83㎡ 障がいのある人たちの働きたいという願いのもと、ベーカリーカフェの運営をはじめとして福祉的就労から一般就労までをサポートする事業所である。

●完成時期/平成25年6月
●選考理由/明るい印象を与える色合いの外観と目の前の公園との調和がとれている。街中のオアシスとして地域に溶け込んでいくことを期待する。

奨励賞

井口台の家



●所在地/西区井口台三丁目 ●施主/山下敏彦 ●設計・施工者/NeatGarden ●概要/個人住宅 面積54㎡ 外に向けて開かれた建築構造に合わせ、ひろしまの風土に合った雑木を中心に、行き交う人たちが見て楽しめるよう、季節ごとの花木を取り入れて造園設計した。 ●完成時期/平成17年5月

●選考理由/小規模な土地でもきれいな緑化ができるモデルとなっており、目の前に広がる瀬戸内海とのマッチングも良い。

奨励賞

花づくりdeまちづくり

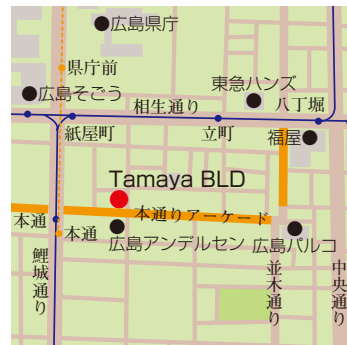


●活動地域/西区古江東町5 ●活動団体/花づくりdeまちづくりボランティアグループ ●活動内容/広電古江駅前の「ふれあい花壇」はたくさんの珍しい草花が咲き並ぶナチュラルガーデンである。宿根草が主体で植物が醸し出すハーモニーと日々の変化を一年通して楽しめる。花壇を整備しているグループは古田公民館の講座から生まれ、地域諸団体や古江商店会の応援を受けて活動してきた。花壇は文字通り地域のふれあいの場となっている。

●選考理由/小さなプロジェクトではあるが、ボランティアグループによる活動であることが評価できる。地域の方々も季節ごとに植え替え、水やりをしており、長期間にわたってのコミュニティ活動が温かいスポットを生み出している。

部門賞

街並み部門 Tamaya BLD



●所在地/中区本通5-5 ●施主/株式会社TamayaBLD ●設計者/小川文象 / FUTURE STUDIO一級建築士事務所 ●施工者/創建工業株式会社 ●概要/テナントビル 鉄骨造4階建 建築面積:148.06㎡ 延床面積:606.35㎡ ●完成時期/平成24年7月

●選考理由/デザイン的にも優れたファサード(建物の正面又はそれをなす外観)で全面ガラスの透明感があり、フラットバーをクロスさせ軽い印象を与える空間に仕上げており、現代的な街並みを演出している。市内中心部のシンボルになり、本通のイメージを新しくしている。オープンな雰囲気、天井も高く、解放感とくつろぎを与えている。

部門賞

活動部門 ふたたびプロジェクト



●活動地域/安佐北区亀山南二丁目 ●活動団体/ふたたびプロジェクト実行委員会 ●活動内容/JR可部線の利用促進と沿線地域の地域活性化を目的とした市民プロジェクト:JR線として日本で初めて復活する1.6kmを『ふたたび線』と名付け、ふたたび線に乗り、終着駅そばの『ふたたびの宮』にお参りすれば、復活の願いが叶うという物語を創作し、お宮や市場の整備、田植え体験会や「可部線早う鯉」等の推進、さらに

『二人旅(ふたたび)』とも書けることから、恋人の聖地として絆石を設置したり、鉄道ファンの聖地としての整備も進めている ●選考理由/可部線復活に関わるプロジェクトで、ストーリー性ある多くのプログラムを効果的につなげ、住民意識の高揚と街づくりに大きな貢献をしている。可部線復活の願いを込めて、自発的に活動する地域の方たちのアイデアと行動力を評価した。

「ひろしま街づくりデザイン賞」は皆さんが選ぶ景観賞です。

広島市の街は山や川、海といった豊かな自然に囲まれ、美しい街をつくる条件に恵まれています。広島市では、魅力ある街づくりを進めていくために、平成6年度から「ひろしま街づくりデザイン賞」を実施しています。これは、良好な景観の形成に貢献している建物や看板、活動などを市民の皆さんから募集し、その中から優れたものについて表彰する制度です。平成12年度までは毎年度実施していましたが、平成13年度から、募集から選考・表彰までを2ヶ年にわたって実施しています。平成13年度の募集（第8回）から、部門賞のほかに「奨励賞」を設け、広島らしい魅

力を創造している物件や活動を幅広く表彰できるようになりました。平成25年度（第14回）からは、各部門の対象をよりわかりやすくするため、これまでの11部門から6つの部門賞と街づくり提案賞に見直しを行いました。「活動部門」については、要件となる活動年数を、これまでの5年以上から「おおむね3年以上」と短くし、応募していただき易い基準に改めました。また、「街づくり提案賞」は、これまで応募対象を学生・生徒に限定していましたが、第14回からは対象を限定せず、広島の魅力を高めるアイディアを広く募集しました。

賞	部 門	対 象	要 件
部 門 賞	建築物部門	優れたデザインの建築物で、街並みに調和したもの 例：集合住宅、商業ビル、ホテル、改築・改装により魅力を増した店舗、建材を再使用・再生利用した建築物、リニューアルした建築物、エネルギーの有効活用に優れた建築物、水辺を舞台とした建築物など	おおむね5年以内に完成したもの、又は改築・改装されたもの
	個人住宅部門	優れたデザインの戸建住宅で、街並みに調和したもの 例：斬新で洗練されたデザインの住宅、改築・改装により魅力を増した住宅、建材を再使用・再生利用した住宅、リニューアルした住宅、エネルギーの有効活用に優れた住宅、水辺を舞台とした住宅など	おおむね5年以内に完成したもの、又は改築・改装されたもの
	アート部門	街角や建築物のアクセントになり、街並みに調和したもの 例：洗練された街角の彫刻、堀や仮囲いに描かれた絵、広告看板、ラッピングされた公共交通機関など	おおむね5年以内に完成したもの、又は改築・改装されたもの
	花と緑部門	通りへの配慮がなされ、街並みに調和し、街に潤いを与えているもの 例：手入れの行き届いた住宅の生垣やビル周りの緑化や植栽、花々を生かして四季折々の優れた景観を形成している住宅・店舗のガーデニングなど	年数の要件なし
	街並み部門	(1)魅力ある街並みをつくり出しているもの 例：建築物や看板、街灯の形や色などについてルールを定めて魅力ある街並みや景観をつくり出している住宅団地や商店街、歴史・文化を生かした趣のある空間を形成している遊歩道や街並みなど (2)明かりによる演出により、美しい夜景空間をつくり出しているもの 例：ライトアップされた建築物や樹木、住宅団地、商店街など	年数の要件なし
	活動部門	(1)まちの魅力を高め、にぎわいを創出するために地域住民など複数の人が関わって行われるイベントや活動 例：地域の魅力を高めるイベントや活動、水辺を舞台としたイベントや活動など (2)地域の魅力的な景観づくりへの貢献が認められる活動 例：環境美化・緑化活動、自然との触れ合いの場を創出した活動、美しい夜景空間を演出する活動など	おおむね3年以上継続しているもの
大 賞	部門賞を受賞した物件等のうち、特に優れたものに対し、大賞を授与する。		
奨 励 賞	部門賞の選外となった物件等の中で、広島らしい良好な景観の形成に貢献しているものに対し、奨励賞を授与する。		
街づくり提案賞	「広島魅力を高める街づくり」に貢献する提案 例：建築物や公共施設の緑化や老朽化した建築物等の再生、環境にやさしい街づくりの提案、広島の特徴である美しい水辺空間を楽しめる街づくりの提案など		提案をイメージ図等にして、A2サイズ1枚程度にまとめ提案理由と一緒に提出

■応募の対象

広島市内で良好な景観の形成に貢献しているもの。ただし、建築関係法令などに適合していない物件、公共施設、これまでにひろしま街づくりデザイン賞を受賞したもの（受賞した部門以外への応募は可）は除きます。

■応募方法

自薦・他薦は問いません。一人又は一団体何点でも応募できます。応募用紙に必要事項を記入し、写真（データ、ネガでも可）等を同封し、郵送してください。なお、これらの写真などは返却しませんのでご了承ください。また、電子メール（アドレス：urban-d@city.hiroshima.lg.jp）でも応募できます。詳細は、ひろしま街づくりデザイン賞のホームページをご覧ください。

■審査・発表

ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会において審査・選考します。審査の結果は平成28年（2016年）11月（予定）に発表し、表彰式を行います。各部門受賞者には、表彰状、銘板又は盾などを贈呈し、加えて大賞受賞者にはトロフィーを贈呈します。また、奨励賞、街づくり提案賞の受賞者には表彰状を贈呈します。

■参加賞

応募いただいた方全員に、記念品と受賞物件などをまとめたパンフレットを差し上げます。

広島市長のこたば



広島市長
松井 一實

広島市は、市民の皆さんが誇りと愛着を持ち住み続けたいと思う「まち」、国内外の人々が訪れてみたいと感じ訪れた人々が住んでみたくなる「まち」を目指しています。その実現を図る上で、景観は非常に重要な要素です。「ひろしま街づくりデザイン賞」は、このような「まち」の景観を創る取組の一つであり、市民の皆さんから良好な景観の形成に貢献している建築物や活動などを募集して優れたものを表彰する制度で、平成6年から実施しています。

14回目を迎える今回は、前回11あった部門を集約し、6部門と街づくり提案賞について募集したところ、185件の応募があり、4年ぶりに選定された大賞を含め12件が選ばれました。いずれも個性的な、また、広島市の魅力を高める工夫に満ちあふれた素晴らしいものばかりで、非常にうれしく思っています。

魅力ある景観を創っていくためには、私たち一人一人が「まち」の景観について高い関心を持ち、美しい景観形成の意義や必要性について広く意識の共有化を図ることが大切であると考えています。本賞が市民の皆さんに美しい「まち」について考えていただく一つのきっかけになり、より一層魅力ある広島らしい都市景観が形成されることを心から期待しています。

会長の選考総評



広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会会長
杉本 俊多

今年度で14回目を迎える「ひろしま街づくりデザイン賞」では、「建築物」、「個人住宅」、「アート」、「花と緑」、「街並み」、「活動」の6部門と、「街づくり提案賞」について募集したところ、計185件の応募がありました。選考委員9名によって、現地審査を含む3回の審議会での熱心かつ慎重な議論を経て、厳正な審査の結果、計12点を選定するに至りました。

今回は、特に優れたデザインであり、かつ平和を希求する広島にふさわしい個性を備えた建築作品1点を、大賞に選定することができました。大賞は4年ぶりのこととなります。また、部門賞では、建築部門、個人住宅部門、花と緑部門、街並み部門、活動部門から各1点の計5点を選定しました。いずれも特徴的なデザインであったり、また熱心な取組が感じられる印象的なものばかりです。合わせて、惜しくも部門賞には選ばれませんでした。が、広島らしい良好な景観の形成に貢献するものとして、奨励賞3点も選定しました。また、今回から応募対象を学生・生徒以外にも広げた「街づくり提案賞」では、専門的な職業人からの応募も含めて50件もの提案が寄せられ、街づくりに対する関心の高まりを実感しています。選定された3件は、応募資料の完成度の高さと豊かな発想を評価しました。

戦後69年を経て、広島は自然にも恵まれた生き生きとした景観を実現しています。平和の精神がこのような美しい景観を実現することを、今、私たちは自信をもって世界にアピールすべき時期にきています。これからも市民のひとりひとりが、身近な住宅街から都心のメインストリートまで、よき意思をもって街づくりに取り組み、また海辺や山並みを含む広島のパランドデザインを議論し合い、世界に誇る広島の景観をさらに豊かにしていってほしいと願います。

募集期間

平成25年（2013年）10月25日（金）～12月25日（水）
（街づくり提案賞については
～平成26年（2014年）2月28日（金））

応募件数

建築物部門	49 件	街並み部門	19 件
個人住宅部門	29 件	活動部門	13 件
アート部門	13 件	街づくり提案賞	50 件
花と緑部門	12 件	合 計	185 件

選考課程

写真選考 平成26年（2014年）6月10日（火）
現地視察 平成26年（2014年）7月 8日（火）
最終選考 平成26年（2014年）7月30日（水）

表彰式

平成26年（2014年）11月28日（金）



選考委員

会 長 杉本 俊多 副会長 山田 知子
委 員 柳 幸典 山本 祐二 玉田 陽子 松岡 美栄
清田 誠良 国野 友子 上梶 輝之